

特集

中央大学図書館蔵  
中院本『源氏物語』



『源氏物語』(中央大学図書館蔵)

CONTENTS

- 特集 中央大学図書館蔵 中院本『源氏物語』 文学部教授 中川 照将
- 国連SDGs企画展「FACT×国際機関資料室フェアトレード展」を開催
- 学部長おススメの一冊
- 第4回学生選書ツアーを開催しました
- 中央図書館2階 雑誌コーナーがリニューアルしました！
- 防災用品のご案内
- 新取資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録(2022.12～2023.5 収集分)



# 中央大学図書館蔵 中院本『源氏物語』

文学部教授 中川 照将

## 1. 中央大学図書館蔵『源氏物語』は、 なぜ「貴重」なのか？

中央大学図書館には〈中院本〉と称される源氏物語の伝本（以下、中大本とする）が所蔵されている。この伝本は、1987年に古典研究の第一人者であり、古典籍にも造詣が深い山岸徳平氏から寄贈されたもので、現在は貴重書庫に保管されている。大まかな書誌情報としては、書写年代が江戸前期、31帖の残欠本となる。その他の情報については、紙幅の関係上割愛するが、おそらく多くの人たちは、詳しい書誌情報を読んだとしても、中大本の、いったいどこに「貴重」な要素があるのかピンとこないのではないだろうか。美術館で展示されている写本などのように、書写年代が格段に古いわけでもない。なにより、『源氏物語』全54帖のうちの31帖しか残っていない。こうした一見特別な感じのない中大本がなぜ「貴重」なのか。以下、中大本について詳細な分析を行った山岸徳平・池田和臣両氏の研究(1)を踏まえつつ、わたしなりの解説をしていくこととする。

## 2. そもそも中院家とはなにか、 〈中院本〉とはなにか

中院家は、鎌倉初期の通方を祖とする堂上公家（昇殿を許された家格の高い公家のこと）で、室町～江戸中期にかけては特に学問の家として広く知られていた。本解説で述べるところの〈中院本〉は、その中院家が所有していた源氏物語伝本のことを指している。中院家は、源氏学において重要な役割を果たしている。特に中院通勝（1556～1610）は、『岷江入楚』を作成した人物として注目される。この本は、1598年成立の源氏物語注釈書で、南北朝以降に作られた『河海抄』『花鳥余情』（図1）『弄花抄』など主要な源氏物語注釈書を整理し、それぞれの説が一覧できるように並べた源氏学の集大成というべきものである。なお、『岷江入楚』は、当時大きな影響力を持つものであったらしく、数多くの伝本が残っている。現在でもその価値は変わらず、『源氏物語古注集成』等々に活字化されるなど、源氏研究者必読のものとなっている。

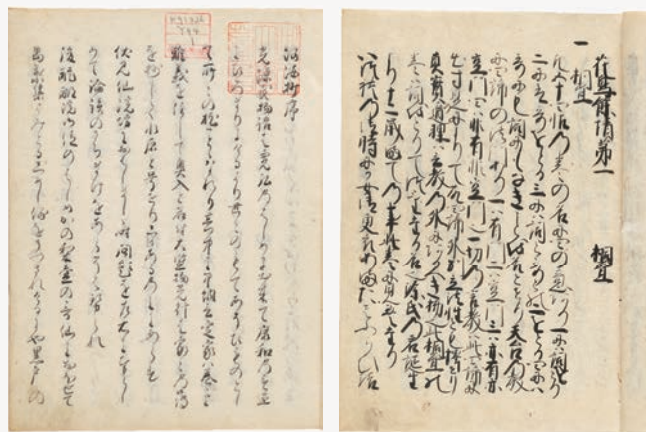


図1 『河海抄』（左）『花鳥余情』（右）（中央大学国文学研究室蔵）

このように源氏学に大きな功績を果たした通勝であるが、ここで、ある素朴な疑問が生じてくる。それは、そもそも通勝は『岷江入楚』を作成する際に、どのような源氏物語を利用していたのか、というものである。実は、その答えこそが、中大本に隠されている。

結論から言えば、中大本は、中院家の源氏物語を忠実に書写したものであり、また通勝は中大本とほぼ同じものを使用していたと考えられる。中大本の素性を把握する上でポイントとなるのが、橋姫巻奥書（図2）に見える「元和9年（1623）、通村が句宮・竹河・橋姫三帖の本文に校合を加えた」という記述である。通村（1588～1653）とは、先に述べた中院通勝の息子である。通村が手にしていた源氏物語は、父である通勝も利用していたはずである。そして、中大本は彼らの源氏物語を書き写したものであるから、当然〈中院本〉の系譜に位置づけられる伝本だということになる。つまり、中大本によって、通勝が『岷江入楚』を作成した際に使った源氏物語が具体的に特定できるのである。

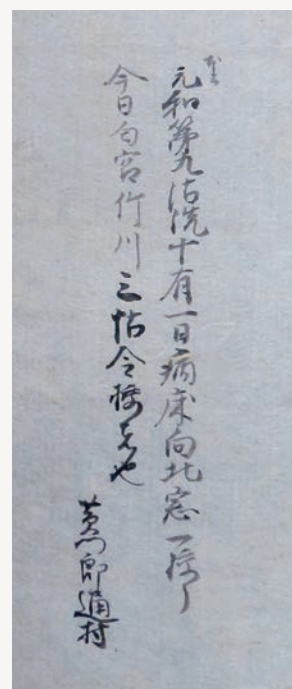


図2 橋姫巻奥書



### 3. レプリカとしての 中央大学蔵『源氏物語』の意義

中大本を分析していくと、もう1つわかることがある。それは、中院家の源氏物語は、通勝の学問の師匠にあたる三条西家の源氏物語証本（1531年完成。証本とは、その家が定める決定版のこと）を忠実に書き写したものであったという事実である。

中大本と三条西家の源氏物語（日本大学図書館蔵、以下三条西家本とする）(2)を比較すると、両本はレプリカの関係にあることがわかる。本文が同じであるのはもちろんのこと、改行の位置、1面あたりの行数、他本との本文の違いを記した本文校合の痕跡、奥書（いつ、だれが、どの本を使って書写したのかといった本の由来について書かれたもの）にいたるまで、正確かつ忠実に再現させた完全なるレプリカだといえる。これを、先の中院家の源氏物語を加えて関係性を示すと、①三条西家本→②中院家の源氏物語→③中大本という関係になる。つまり、中院家の源氏物語は、三条西家本の完全なるレプリカであり、中大本は、そのレプリカのレプリカであったことがわかるのである。中院家の源氏物語は、三条西家の源氏物語を書写したものであった。この事実は、通勝が三条西家から源氏学を学び、また『岷江入楚』を作成する際にも三条西家から数々の源氏物語注釈書を借り出していたことを思えば、十分に予想されることではあるが、それが、中大本の存在によってはじめて実証された。その意味において中大本の学問的な価値は高く、「貴重」だと言えるのである(3)。

### 4. 中央大学蔵『源氏物語』から 読み取れるもの

ここまで、中大本がなぜ「貴重」なのかについて解説してきた。確かに、通勝がどのような源氏物語を使用していたかは理解できた。ただ、それが理解できたところで、結局、何がわかるのだろうか。その答えは、簡単である。当時の人々は、常にホンモノの源氏物語を探し続けていた。中大本を見ると、まさにそうした彼らの模索し続ける様子がわかってくる、のである。

「ホンモノの源氏物語」というふうに述べると、違和感をおぼえる人もいるかもしれない。図書館や書店で手にする源氏物語は、装丁こそ違うものの、本文に関してはほとんど同じ（ように感じる）からである。ただ、源氏物語の本文が同じ形に固定化されたのは、池田亀鑑が『源氏物語大成』を完成させた1956年以降のこと。それ以前は、源氏物語を読もうと思った際

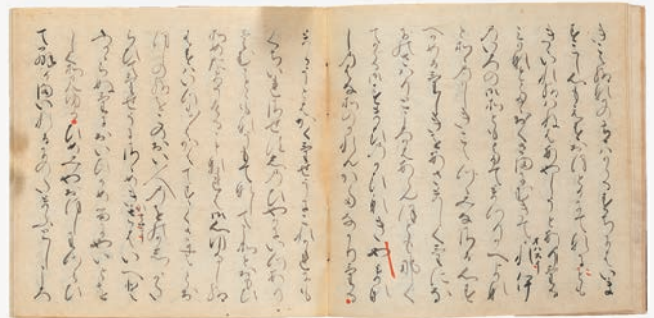


図3 総角巻25丁裏 26丁表 三条西家本にはない独自の異本注記

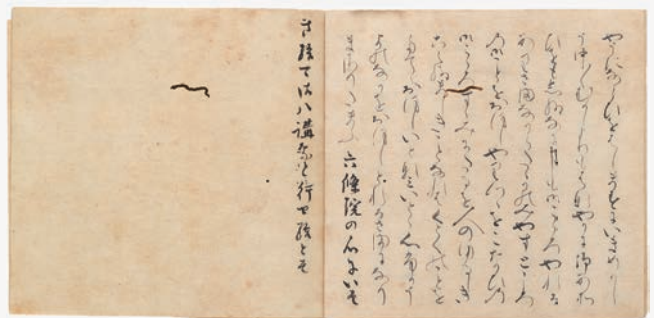


図4 鈴虫巻9丁裏 後遊紙1丁 巻末に別筆での独自の本文補入

に、まず、どの伝本を利用すべきかを考え、また自分が選んだ伝本が本当にホンモノの源氏物語であるのかについて、常に吟味しながら読んでいたのである。その最大の原因は、紫式部自筆のホンモノの源氏物語が現存しないことにある。

周知の通り、源氏物語には数多くの伝本が現存している。しかも、1つとして同じものがない。こうした違いが生まれる要因は2つある。1つは本を書き写す際の書き間違い。もう1つは、自分の判断で勝手に本文を書き換えるというものである。例えば、本を読んでいて違和感のある箇所遭遇した時、そこに書き間違いがあるのだろうと推測し、本文を書き換えるというのは、なんとなく想像できる。ただ、それらの違和感の中には、単にわたしたちの知識不足のせいで作者の意図が理解できていない場合もある。あるいは、作者自筆本の時点で既に書き間違いがあった可能性もある。書き間違いであるのか否か、作者の意図なのか否か、それとも作者自身のミスなのか否かなど、その判断は常に揺れている（実はこの問題は、現在もなお続いている）。ホンモノの源氏物語とは、どういうものであったのか。当然のことながら、今から400年前の中院通勝たちも、この問題に直面していた。中大本に書き込まれた数々の本文校訂の跡は、まさにそのことを示している（図3、4）。中大本には、遠い昔に失われたホンモノの源氏物語を追い求めた、中院家の人たちの試行錯誤する姿が刻み込まれているのである。

- (1) 山岸徳平「源氏物語の諸本」(『源氏物語講座 8』有精堂 1972年)  
池田和臣・太田澄子・金津有紀子・斎藤理香「中央大学図書館蔵中院本源氏物語について一失われた「三条西家証本」紅梅巻原本の本文」(『古代中世文学論考 15』新典社 2005年)
- (2) 『日本大学蔵源氏物語 1～11』(八木書店 1994～6年)
- (3) さらに池田和臣氏は、中大本のレプリカとしての特性から、中大本紅梅巻(1面10行書き)が、補填される前の三条西家本紅梅巻の形態を保つ

可能性がある結論づけている(図5、6)。ただ、三条西家本のレプリカであり、かつ1面10行書きの紅梅巻は、京都大学附属図書館中院文庫にも所蔵されている。両本は、改行の位置や書き入れの扱いなどにおいて若干異なる点が認められる。どちらがより補填される前の三条西家本紅梅巻に近いのか、気になるところである。なお、中院文庫蔵本については、山脇毅「三条西家証本源氏物語」(『源氏物語の文献学的研究』創元社 1944年)でも言及されている。

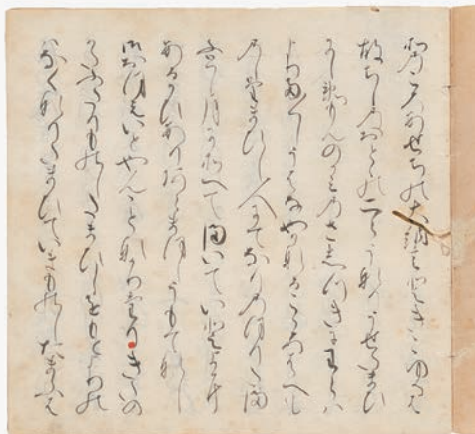


図5 紅梅巻1丁表

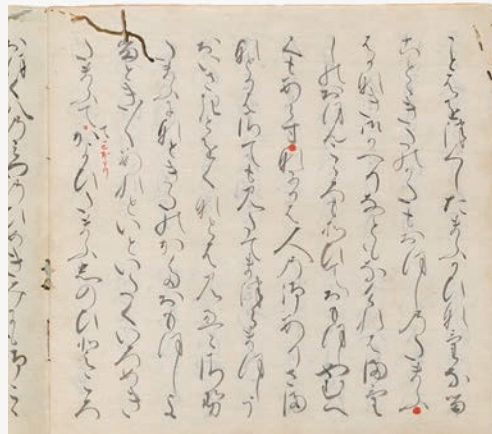


図6 紅梅巻17丁裏 10行目に2種の独自書き入れ

## 国連SDGs企画展

# 「FACT×国際機関資料室 フェアトレード展」を開催

中央大学図書館国際機関資料室では、2023年12月4日(月)から12月21日(木)まで、FACT(中央大学フェアトレード委員会)との協働による「フェアトレード展」を開催しました。FACTは、中央大学の学生団体で、フェアトレードの普及と啓発・啓蒙を目指しています。展示期間中、中央図書館ではフェアトレードに関する資料・商品が多数紹介されました。

展示では、図書館の蔵書から関連資料が学生によって選定され、実際のフェアトレード商品も学生の紹介文を添えて一堂に展示されました。商品には、チョコレートやコーヒーだけでなく、ラグビーボールなどフェアトレード品としてなじみの薄いものもありました。大きなホワイトボードにフェアトレード普及のためのアイデアを書けるコーナーもあり、見学者参加型の展示を実現しました。また、「中央大学SDGsアクションプランアワード2023」の最優秀賞受賞作品『中央大学をフェアトレード大学に!』も紹介しました。

展示の宣伝には、学生が作成したポスターの構内での掲示やSNSが活用されました。見学者のフィードバックや資料の貸出傾向、学生へのアンケートは、今後の展示企画に役立てる予定です。

「FACT×国際機関資料室 フェアトレード展」は、FACTと国際機関資料室が協働して実現した企画であり、フェアトレードに関する意識の向上と、学生と図書館の連携強化に寄与する展示となりました。





# 学部長おススメの一冊

学生の皆さんにおススメしたい図書を1冊選んでいただきました。中央図書館、理工学部分館、法学部図書館、国際情報学部図書室で展示を予定しています。

## 法学部長 遠藤 研一郎 教授

### 『ある法学者の軌跡』

川島武宜 著 有斐閣 1978年



本書は、川島法学を知るための重要な資料ですが、同時に、良き大学があった最後の時代の代表的な研究者の記録であると、私自身は捉えます。筆者の門下の平井宜雄先生から私がお伺いした、本書作成のエピソードは割愛せざるを得ませんが、時代を超えて、「知る」ということへの熱量と尊さを感じてほしいです。

所蔵 開架 320.4/Ka97、法 B2 320.4/Ka97



## 経済学部長 佐藤 拓也 教授

### 『資本論(新版)』(全12分冊)

カール・マルクス 著 / 日本共産党中央委員会社会科学研究所 監修  
新日本出版社 2019年~2021年



最近でも世界的金融危機や、地球温暖化、格差・貧困などによって度々注目されるので、その書名くらいは聞いたことがあるかもしれませんが、ただし、多くの人の想像とは異なり、「社会主義」についてはほぼ何も書かれていません。長くて難解な本ですので、教科書や解説書を見ながら理解しやすいような箇所から読んでみて下さい。

所蔵 開架 331.6/Ma59、法開架 331.6/Ma59



## 商学部長 井上 義朗 教授

### 『読書と社会科学』

内田義彦 著 岩波書店(岩波新書) 1985年



「勉強」という言葉があります。「数学を勉強する」とも言いますが「1万円の品物を勉強させていただいて8千円で売ります」とも言います。この2つの「勉強」は実は同じ意味なのです。その理由を知ったとき、私たちの世界は一回り大きくなります。読書とは世界を広げること。この本を読むとそのことがよくわかります。

所蔵 開架新書 岩波新書 / 黄 -288、中央書庫 019/U14、理開小型 019/U14、法開架小型 019/U14、iTL 019/U14



## 理工学部長 梅田 和昇 教授

### 『生物から見た世界』

ユクスキュル、クリサート 著 / 日高敏隆、羽田節子 訳  
岩波書店(岩波文庫) 2005年



ご存知のように、我々は視覚を初めとする五感で世界を知覚しています。しかしながら、その知覚は極めて主観的なものであり、他の生物(例えばダニ!)が知覚している世界は全く違っているということを、豊富な例で考えさせてくれる本です。1930年代に書かれた古い本ですが、我々の世界観を相対化してくれる名著です。

所蔵 開架文庫 岩波文庫 / 青 -943-1、理開小型 岩波文庫 / 青 -943-1、法開架小型 481.78/U49、iTL 岩波文庫 / 青 -943-1



## 文学部長 緑川 晶 教授

### 『ケーキの切れない非行少年たち』

宮口幸治 著 新潮社(新潮新書) 2019年



皆さんの中には、犯罪に関わるような非行少年たちは、本人が悪いことをしたのだから収容されるのは当然だと考える人もいるかもしれませんが、しかし、そのような少年達の背景を探ると、認知的な弱さに起因することが少なくないことが明らかにされました。自分たちの物差しで人々を判断してしまっていることを痛感します。

所蔵 開架新書 新潮新書 / 820、法開架小型 368.71/Mi73



## 総合政策学部長 堤 和通 教授

### 『レ・ミゼラブル(改版)』(全4巻)

ユーゴー 著 / 豊島与志雄 訳 岩波書店(岩波文庫) 1987年



フランス革命から19世紀半ばに至る激動の時代を舞台に、それを生きた作者が描く物語は、ストーリーの展開に合わせて、刑罰や司法制度の詳細についての解説があり、罪とは何か、罰とは何か、世俗国家の力と人間の情愛や信仰の力とはどのようなはたらきをするのか、という問いに向き合わせてくれます。

所蔵 中央小型 953/H98、開架文庫 岩波文庫 / 赤 -531-1~4



## 国際経営学部長 中迫 俊逸 教授

### 『「死の島」ニューギニア 極限のなかの人間(新装版)』

尾川正二 著 潮書房光人社(光人社NF文庫) 2004年



第一回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した作家が自身の戦争体験を書いています。戦争の悲惨さ、命の尊さを思い知らされる作品です。必死になって努力し、必死になって自ら自身で想像していくことが「希望」であることを学ぶことができます。読んでいる途中から辛くなるかもしれませんが、ぜひ手に取っていただきたいと思います。

所蔵 中央書庫 916/O24  
※中央書庫の所蔵は、筑摩書房から刊行されたものですが、内容は同様のものになります。



## 国際情報学部長 平野 晋 教授

### 『われはロボット(決定版)』

アイザック・アシモフ 著 / 小尾美佐訳  
早川書房(ハヤカワ文庫 SF) 2004年



映画「アイ,ロボット」の原点。収録短編「うそつき」が特にお薦めです。職場の人達から個別に悩みを打ち明けられたロボットが、全員に対して嘘(うそ)を吐(つ)かざるを得なくなり追いつめられる。「ロボットは人に危害を加えてはならない」という「ロボット工学第一原則」ゆえに嘘を吐いたのだが…これ以上書くとネタバラシになるので是非本書をお読みください。

所蔵 開架 933/A92、理開小型 933/A92、法開架小型 933.7/A92、iTL 933/A92



所蔵場所について  
多摩キャンパス 開架・開架新書・開架文庫：中央図書館4階、中央書庫：中央図書館書庫  
後楽園キャンパス 理開小型：理工学部分館5階  
市ヶ谷町田キャンパス iTL：国際情報学部図書室  
茗荷谷キャンパス 法開架・法開架小型：法学部図書館4階、法B2：法学部図書館地下2階書庫  
※各館室で利用対象・方法が異なります。詳細は図書館HPでご確認ください。

# 第4回

# 学生選書ツアーを開催しました!



2023年11月13日(月)、17日(金)、第4回学生選書ツアーを開催しました。2020年度から始まった選書ツアーも4回目となり、今回は初めての試みとして、選書ツアーの前に「中大ライブラリアンとのトーク会」も実施しました。7月にオープンした多摩市立中央図書館の活動室をお借りして、ふだん図書館ではどのような仕事を行っているのか、学生の皆さんが本を手にするまでの過程などを紹介しました。



## 選書ツアー @丸善多摩センター店

丸善多摩センター店での選書ツアーでは、参加してくれた6名の学生が、気になる本を手に取りながら店内の書棚を何度も往復し、熱心に選書してくれました。すでに図書館で蔵書している本は購入対象

外となるため、CHOIS(蔵書検索システム)で検索し、中大図書館での所蔵がないことを確かめながらの選書となりました。ツアー後には、各自が選んだ本を紹介するPOPも作成してもらいました。選書された本とともに、各キャンパスで展示しています。貸出も可能ですので、ぜひご利用ください!



中央図書館



理工学部分館



法学部図書館

## 参加した感想

意外と本が高いということを再認識しました。最初予算額が多いのではと思いましたが、本を選んでいく内にかなり基準額に迫りました。自分だと手が出しにくい値段の本を図書館に所蔵して頂くことによって誰でも手を伸ばせるのは有難いので良かったです。  
文学部 M.T.さん

図書室の役割や目的を理解し、学生たちの学びや研究をサポートできる本を選択するよう努めました。そして学生代表として多くの学生のニーズや興味を考える中で、私も中央大学の一員であるという実感や責任意識を強く持ちました。  
経済学部 K.F.さん





# 雑誌コーナーが リニューアルしました!



従来、2階雑誌コーナーは法律雑誌が中心でしたが、法学部の茗荷谷キャンパス移転に伴い、それらは法学部図書館へ移設しました。空いたスペースには、利用の多い雑誌、学修・キャリア支援・趣味に繋がる雑誌などを140タイトル選定し、書庫へ請求しなくても、数年分のバックナンバーまで気軽に手に取れるように陳列しました。

表紙を見るだけでも、「流行」や「時代」がわかって楽しめる雑誌コーナーを、ぜひご利用ください!

## こんな雑誌が あります

- ・AERA ・文藝春秋 ・Newsweek 日本版 ・世界 ・National geographic ・週刊ダイヤモンド
- ・月刊金融ジャーナル ・プレジデント ・週刊東洋経済 ・Wedge ・教職課程 ・留学ジャーナル
- ・Newton ・数学セミナー ・ブレン：広告とマーケティング ・BT：美術手帖 ・音楽の友
- ・キネマ旬報 ・Number ・ユリイカ など

## 最新号雑誌書架

2階大階段の下にある書架です。

国内のものを中心に、主要な雑誌、学術雑誌が並んでいます。

壁面書架または書庫にバックナンバーがあります。



## 壁面書架

2階閲覧席から国際機関資料室までの壁面を囲む書架です。

最新号雑誌書架の雑誌のうち、1~3年分のバックナンバーが利用できます(それ以前の巻号が書庫にあるタイトルもあります)。



## 防災用品のご案内

中央図書館では、大地震等の発生時に備えて、救助用の備品を格納している「レスキューキャビネット」を中央図書館2階カウンターの奥に設置しています。また、万が一エレベータの中に閉じ込められてしまった場合に備えて、エレベータ内に「エレベータ用防災キャビネット」を設置しています。



### レスキューキャビネット

建物や閲覧室に閉じ込められた方の救助等に使用します。

現場にいる人間だけで最低限の対応ができるように救助に必要な物品を備えています。

#### 内容物

救助ロープ、バール、救急用品、スタンドライト、キャリーフ※、ブルーシート、ヘルメット、ECOラジオ、ヘッドライト、革手袋、保護メガネ、ホイッスル、マスク、油圧ジャッキ、アルカリ電池等

※キャリーフとは、折りたたみ式の担架です。大人4人で持ち手となる穴部分をつかみ、負傷者を搬送します。



### エレベータ用防災キャビネット

エレベータ内に閉じ込められてしまった場合に、救助を待つために使用します。

閉じ込められた場合は救助が来るまで落ち着いて待ちましょう。

#### 内容物

アルミブランケット(静音タイプ)、ホイッスル、救急用品、セーフティライト、ECOラジオ、非常用飲料水、非常用食料、簡易トイレ

# 新収資料紹介

教職員著作目録 2022.12-2023.5 配架図書一覧 ( )は所属学部等

著者名		書名	出版社	出版年月	所蔵館	書誌番号
阿部 幸信(文)	著	漢代の天下秩序と国家構造	研文出版	2022.11	東史	BB01679261
飯島 大邦(経)	編著	人口と公共政策(中央大学経済研究所研究叢書 79)	中央大学出版部	2022.11	中央館/法学部	BB01673887
余 華 飯塚 容(文)	著 訳	文城：夢幻の町	中央公論新社	2022.10	中央館/中言	BB01670198
池田 正孝(名)	著	英国児童文学の舞台を訪ねて	東京子ども図書館	2022.12	中央館	BB01676785
池田 雄一(名)	著	中国古代の律令と地域支配(汲古叢書 177)	汲古書院	2022.12	中央館/東史	BB01677407
井田 良(法務)ほか	編	刑法各論判例インデックス 第2版	商事法務	2023.3	中央館/法学部/LS/iTL	BB01679821
井田 良(法務)、椎橋 隆幸(名)	著	死刑制度論のいま：基礎理論と情勢の8つの洞察	判例時報社	2022.10	中央館/法学部/LS	BB01669809
宇田川 幸大(商)	著	私たちと戦後責任：日本の歴史認識を問う(岩波ブックレット No.1075)	岩波書店	2023.2	中央館/法学部	BB01678538
宇野 茂彦(名)	著	諸子思想史雑識	研文社	2022.11	中央館/哲学	BB01676270
梅澤 貴典(職)	著	ネット情報におぼれない学び方(岩波ジュニア新書 964)	岩波書店	2023.2	中央館/社情	BB01679393
榎本 泰子(文)	編	上海フランス租界への招待(アジア遊学279)	勉誠出版	2023.1	中央館	SB01484153
ジュール・ミシュレ 大野 一道(名) 大野 一道(名)ほか	著 編 訳	万物の妻：すべての生命体はひとつ	藤原書店	2023.2	中央館/法学部	BB01679034
岡崎 裕史(国情)	著	ITパスポート合格教本 令和05年	技術評論社	2022.12	中央館/iTL	BB01674361
岡崎 裕史(国情)	著	Web3とは何か：NFT、ブロックチェーン、メタバース(光文社新書 1232)	光文社	2022.12	中央館/法学部/理工/iTL	BB01674488
岡崎 裕史(国情)	著	うかる!基本情報技術者 2023年版科目B・セキュリティ編	日経BP日本経済新聞出版	2023.1	中央館/iTL	BB01676804
岡崎 裕史(国情)	講師	スマホまわるだけ講座：最新版：1年中楽しめる四季のスマホ活用術	扶桑社	2022.12	iTL	BB01677677
岡崎 裕史(国情)	著	情報処理安全確保支援士合格教本 令和05年<春期><秋期>	技術評論社	2022.12	iTL	BB01677686
岡崎 裕史(国情)	著	情報セキュリティマネジメント合格教本 令和05年	技術評論社	2022.12	中央館/iTL	BB01677688
大滝 みや子、岡崎 裕史(国情)	共著	応用情報技術者合格教本 令和05年 春期 秋期	技術評論社	2022.12	iTL	BB01677683
DIME編集部 尾原 和啓、岡崎 裕史(国情)ほか	編 [執筆]	日本が世界で勝つためのシンD戦略	小学館	2023.4	iTL	BB01682082
小賀野 晶一(法)ほか	編	環境法のロジック	成文堂	2022.10	中央館	BB01671065
奥田 安弘(名)	著	国際私法と隣接法分野の研究 続編(日本比較法研究所研究叢書 128)	中央大学出版部	2022.10	中央館/法学部/LS	BB01671746
小坂田 裕子(法務)ほか	編	考えてみよう先住民族と法	信山社	2022.12	中央館/法学部/LS	BB01675771
遠藤 泰生、小田 悠生(商)	編著	はじめて学ぶアメリカの歴史と文化	ミネルヴァ書房	2023.1	中央館/法学部	BB01672017
於 興中 梶田 幸雄(法)ほか	著 編訳	法の支配と文明秩序：中国人学者の視点から(日本比較法研究所翻訳叢書 86)	中央大学出版部	2022.11	中央館/法学部/LS	BB01671940
梶田 幸雄(法)	著	中国における国際取引紛争解決法 = International Commercial Dispute Resolution Law in China	日本評論社	2022.12	中央館/法学部/LS	BB01675039
川戸 道昭(名)	著	幕末明治翻訳文学史 第1巻(幕末明治翻訳文学史)	国書刊行会	2022.10	中央館/理工	BB01674360
下司 晶(文)	編著	道徳教育(未来の教育を創る教職教養指針 8)	学文社	2023.3	中央館/教育	BB01681109
佐伯 仁志(法務)ほか	編集代表	有斐閣判例六法professional = Yuhikaku's statutes and precedents for professionals 令和5年版01~02	有斐閣	2022.11	中央館/法学部/LS/iTL	BB01671724 BB01671725
山口 厚、佐伯 仁志(法務)ほか	著	判例刑法総論 第8版	有斐閣	2023.4	中央館/法学部/LS/iTL	BB01681357
酒井 克彦(法務)	著	裁判例からみる加算税	大蔵財務協会	2022.11	中央館/法学部/LS/iTL	BB01673304
ホレーショ・ブリッジ 高尾 直知(文)ほか	著 訳	アフリカ巡航者の日誌：ペリー艦隊・奴隷貿易・リベリア	松籟社	2022.10	中央館/英文	BB01670212
横山 宏章ほか 滝田 賢治(名)ほか	編 執筆	国際政治の21世紀像：世界をゆるがすドラマ20幕	有信堂高文社	1996.4	法学部	BB00753567
只木 誠(法)	著	コンパクト刑法総論 第2版(コンパクト法学ライブラリ 10)	新世社	2022.10	中央館/法学部/LS	BB01670241
クリストファー・ガーマー ほか 富田 拓郎(文)	著 監訳	マインドフル・セルフ・コンパッションプラクティスガイド：セルフ・コンパッションを教えた専門家のために	星和書店	2022.11	中央館/法学部	BB01672586
永井 和之(名)、森 光(法)	編	法学入門 第4版	中央経済社	2023.3	中央館/法学部/iTL	BB01679369
生田 崇(理)	著	データサイエンス(やさしく知りたい先端科学シリーズ 10)	創元社	2022.11	中央館/法学部/理工	BB01672059
中央大学山村研究会 西川 広平(文)	編 執筆	山村は災害をどう乗り越えてきたか：山梨県早川町の古文書・民俗・景観を読み解く	小さ子社	2023.2	中央館/日本史	BB01678257
橋本 能(名)	著	アルディからラシーヌへ：フランス17世紀悲劇作品総覧	駿河台出版社	2022.10	中央館	BB01673041
原田 剛(法)ほか	編集委員	民法の展開と構成：小賀野晶一先生古稀祝賀	成文堂	2023.3	中央館/法学部/LS	BB01679482
広岡 守穂(名)	著	日本政治思想史 戦後編	有信堂高文社	2023.2	中央館/法学部	BB01678227
廣瀬 英雄(研)	著	推薦システム：マトリクス分解の多彩なすがた(統計学one point 22)	共立出版	2022.12	中央館/理工	BB01674363
保坂 俊司(国情)	監修	世界でいちばん素敵な宗教の教室 = The World's Most Wonderful Classroom of Religion	三オブックス	2023.1	中央館	BB01675850
三浦 治(法)	著	基本テキスト会社法 第3版	中央経済社	2022.12	中央館/法学部/LS	BB01674003
宮下 修一(法務)ほか	著	消費者法(有斐閣ストゥディア)	有斐閣	2022.11	中央館/総政/法学部/LS	BB01671031
宮間 純一(文)	編	公文書管理法時代の自治体と文書管理	勉誠出版	2022.10	中央館/iTL/日本史	BB01670216
荻上 チキ・Session 宮間 純一(文)	企画 執筆	国葬とは何か / 宗教と政治(Sessionの本 vol.01)	TBSラジオ	2022.9	中央館/日本史	BB01671192
大友 一雄、太田 尚宏 宮間 純一(文)ほか	編 執筆	パチカン図書館所蔵マリオ・レガ資料の総合的研究	マレガ・プロジェクト(国文学研究資料館)	2022.2	中央館	BB01682941
山崎 朗(経)ほか	著	地域政策 第2版(ベーシック+)	中央経済社	2023.1	中央館/法学部	BB01675028
山田 省三(名)ほか	編著	よくわかる!労働判例ポイント解説集 第2版	労働開発研究会	2023.1	中央館/法学部	BB01676821
小島 宏、和田 光平(経)	編著	セクシュアリティの人口学(人口学ライブラリー 22)	原書房	2022.11	中央館/社会	BB01672255

\* (法):法学部、(経):経済学部、(商):商学部、(理):理工学部、(文):文学部、(総):総合政策学部、(国経):国際経営学部、(国情):国際情報学部、(法務):法務研究科、(戦略):戦略経営研究科、(研):研究開発機構教授、(名):名誉教授、(職):職員

My CUL

(マイ・クル)  
中央大学図書館広報誌 No.43  
(2024年 4月発行)

編集発行 中央大学図書館  
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1  
TEL.042-674-2546

URL: <https://www.chuo-u.ac.jp/library/>

